

清瀬市市民活動未来ビジョン（案）に対して提出された意見等の概要及び意見に対する市の考え方

令和8年1月15日から令和8年2月6日までの間、清瀬市市民活動未来ビジョン（案）に対する意見募集を行った結果、3人の方から3件の意見が提出されました。

これらの意見に対する市の考え方を取りまとめましたので、清瀬市パブリックコメント実施要綱第8条及び第9条の規定により次のとおり公表します。

1 パブリックコメントの概要について

- | | |
|-------------|---|
| (1) 意見の募集期間 | 令和8年1月15日から令和8年2月6日まで |
| (2) 資料の閲覧場所 | 市ホームページ、地域市民センター、駅前図書館、生涯学習センター、男女共同参画センター、児童センター、南部児童館等複合施設（令和8年2月1日以降）、コミュニティプラザひまわり、清瀬けやきホール、行政資料コーナー（市役所本庁舎1階）、未来創造課（市役所本庁舎3階）
計15か所 |
| (3) 提出方法 | 市民協働課窓口、郵送、ファックス、電子メール、LoGo フォーム |
| (4) 意見応募者数 | 3人 |
| (5) 意見件数 | 3件 |

2 意見等の概要及び意見に対する市の考え方

No.	ご意見
1	<p>市民活動未来ビジョンの P5 に市民活動の現状についてのアンケート結果があります。これは 1 回だけのアンケートを団体に対しておこなったということでしょうか。平成 13 年度から市民活動センターは稼働していると思いますが、過去 20 年程度のアンケート実施状況と経年変化を示してほしいです。1 回だけのアンケートでは判断が難しいのではないのでしょうか。またアンケート以外に対面や市側との会議時の議事録などはないのでしょうか？市民向けのアンケートは窓口だけでしょうか？窓口だけでは回答にバイアスがかかるのではないのでしょうか。</p> <p>また P8 の市民向けのアンケート結果で「時間がない」という回答が多いと思います。これは市民側に余裕がないことを示しているように見えます。同じく P5 の回答の「参加者の高齢化」も同様に市民に余裕がないようにみえます。経済的な厳しさ、物価高などで以前のように 60 歳定年後に市民活動をすることがなく、定年延長などが起こっている可能性があるのではないのでしょうか。幅広く市民活動の担い手を増やしていくならば、市民に対する経済的なバックアップを自治体として行うことも考えた方がいいのではないのでしょうか。</p>

<p>No. 1 に対する市の考え方</p>	<p>清瀬市市民活動未来ビジョン（案）（以下「ビジョン（案）」といいます。）は、新たに策定する指針であるため、ビジョン（案）の内容を検討するためにアンケートを実施しました。過去からの経年変化などをお示しできるアンケート結果の用意がありません。アンケートの実施にあたりましては、市民活動センターの登録団体だけでなく、市民向けのアンケートも対象として実施しており、実施方法は窓口で配布するだけでなく、Logo チャットを活用するなど、可能な限り多くの方々から回答をいただけるように工夫しました。また、アンケート実施後に市民活動センターの登録団体向けの中間報告会を開催し、ビジョン（案）に対するより多くの意見を出していただく機会を設けております。</p> <p>ビジョン（案）では、アンケート結果を踏まえ、新たに市民活動の担い手を増やしていくために市民活動団体が取組むべきこととして、自分たちで担い手の育成や人材を発掘する工夫を行い、継続的に担い手を確保することと、市民活動への参加促進や活動内容を周知するため、SNS を活用するなど時代ニーズとトレンドに沿った発信を行い、幅広い世代への情報発信を行っていくことを示しております。また、市民活動センターは、市民活動団体に対してホームページや SNS の活用方法などの運営に関する研修や知識提供を行う学習支援機能を整え</p>
------------------------	--

	<p>るといったことを示しております。市民に対する経済的バックアップについては広く行政的な課題と認識しておりますので、本ビジョン（案）には取り上げておりません。</p>
--	--

No.	ご意見
2	<p>ご尽力に感謝いたします。</p> <p>第1章清瀬市市民活動未来ビジョン策定にあたって</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民活動センターの役割再考し、幅広い世代の市民が活動参加しやすい環境整備することを取り上げました。という項目ですが、そのためには、みんなが集まりやすい、たくさんの人が入れる」広さが必要です。その施設は自治形式で話し合いが活発にできる、などの整備ですね。みんなが集まれるスペースを確保できること。 <p>清瀬は登録団体が多く、多様で、活発な活動をつくってきています。そこに、助けられてきました。素晴らしいです。今ある市民活動センターを充実してください。たくさんの方との談会でより良いものをつくるために、十分話し合い、作り上げたいです。一部の人・検討委員会での決定には賛成いたしません。よろしくお願いいたします。</p>

No. 2 に対する 市の考え方	<p>今後のきよせボランティア・市民活動センター運営の参考とさせていただきます。</p>
---------------------	--

No.	ご意見
3	<p>野塩地域市民センター内の図書館を絶対に必ず復活させて下さい。伏してお願いいたします。本もスペースもあるので。</p>

No. 3 に対する 市の考え方	<p>ご意見につきましては、担当部署に共有します。今後の参考とさせていただきます。</p>
---------------------	---